

知っておきたい写真著作権セミナー

公益社団法人日本写真家協会 / 一般社団法人日本写真著作権協会 共催事業

2022年 6月25日(土)

15:40~16:40

スナップ撮影を楽しむための著作権講座 +Q&A

講師：吉川信之（写真家 / 日本写真家協会著作権委員会委員長）

棚井文雄（写真家 / 日本写真著作権協会常務理事）

2022年 6月26日(日)

① 10:30~11:15

写真愛好家のための著作権講座（講師：吉川信之）

② 11:30~12:15

ストリートスナップを撮るために必要なこと（講師：棚井文雄）

③ 13:30~14:30

スナップ撮影を楽しむための著作権講座 +Q&A（講師：吉川信之・棚井文雄）

場所：京都市勧業館「みやこめっせ」大会議室

〒606-8343 京都府京都市左京区岡崎成勝寺町9-1

参加無料（各回定員 70名）

事前予約 / 各回 40名 メール受付

件名に「写真著作権セミナー参加申込 / 京都」と希望日時を明記の上

お申込み下さい→info@jps.gr.jp スマホの方はQRコードからのお申込が便利です。

当日受付 / 午前の部：10時より整理券配布（各回30名）

／午後の部：13時より整理券配布（6/25、6/26 各回30名）

セミナーは諸般の事情により変更、中止になる場合があります。JPSのHPにてご確認ください。



- 京都市営地下鉄東西線「東山駅」より徒歩約10分
- 市バス「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- 京都駅からタクシー約20分
- 四条河原町からタクシー約10分
- 三条京阪からタクシー約5分



©Nobuyuki Yoshikawa

Nobuyuki Yoshikawa

吉川信之（よしかわのぶゆき）

写真家 / 日本写真家協会著作権委員会委員長

1969年東京都生まれ。法政大学社会学部卒業後、フリーで雑誌を中心に活動。1999年に日本写真家協会入会、2021年～著作権委員会委員長。JPS 会員から寄せられた著作権相談の回答などの執筆を担当。共著に『SNS時代の写真 ルールとマナー（日本写真家協会編 朝日新聞出版）』。著作権講演は日本ユニ著作権センター（JUCC）定例セミナー、東京ビジュアルアーツ写真学科・特別授業など。現場の写真家の立場から、実務的な視点で写真著作権や肖像権、被写体の知財権などを研究中。

セミナー内容

写真愛好家のための著作権講座

著作権という言葉を知ると「厄介だな」と感じる方も多いことでしょう。しかし、基本的なことを理解すれば、アマチュア写真愛好家が写真作品を撮影し公表する助けになります。他にも、私有地内の撮影や三脚禁止、個人情報など色々なルールや制限とどう付き合うか？ 講座では、写真撮影に必要な著作権の知識や、撮影現場で遭遇する問題について、プロの写真家が作例を交えながら具体的に解説をいたします。



メール受付



© Kohryu Matsuo

Fumio Tanai

棚井文雄（たない ふみお）

写真家 / 日本写真著作権協会常務理事

東京工芸大学にて細江英公氏に学び、在学中より大倉舜二氏に師事。独立後、『家庭画報』『Wedge（新幹線グリーン車搭載誌）』

『レオン』での連載や、『フィガロ』『ヴァンサンカン』『別冊太陽』などで器、料理、海外リゾートの撮影を行う。

中国、欧州での作品制作を重ね、パリ、ニューヨークなどで個展開催。文化庁芸術家研修員として作品制作。2005年に渡英後、ニューヨークに拠点を移し10年にわたり活動。ストリートスナップを中心に世界各国で撮影を行い、フランス国立図書館、ニューヨーク近代美術館をはじめ欧米の美術館などに作品収蔵。著作権関連の著作として「ストリートスナップは死んだのか？ I, II」

（日本写真著作権協会 JPCA NEWS vol.11 & 24）、「意外と知らない写真の権利」『フォトコン』2021年1月～12月号がある。

一般社団法人日本写真作家協会会長

セミナー内容

ストリートスナップを撮るために必要なこと

「被写体のプライバシーに関する問題を知るほどに、ストリートスナップができなくなってしまった」「ビルを撮影していたら」肖像権があるから撮るなと言われた、こんな声を耳にします。街中で撮影するためには、撮影時に一定のマナーを守ることを前提としつつ、公表についてのルールも正しく理解しておくことが大切です。これからの時代にストリートスナップを撮り続けていくために必要なことをお伝えします。